

ペットシッター 入門ガイドハンドブック

-2024 GUIDEBOOK-



日本ペットシッター協会 × ラニマル

大好きなペットのお世話を
仕事にする喜び。



ペットのお世話を仕事にする「ペットシッター士」の資格

特定非営利活動法人



日本ペットシッター協会

MAIL : info@pet2211.com

HP : <http://www.pet2211.com/>



ペットシッターとは

私たちの耳慣れた言葉にベビーシッターという仕事があります。これは、ご存知のように、ご家族に代わってお子さんの世話をする仕事でアメリカでは、高校生のアルバイトから始まり、ベビーシッターを本職とする人もあります。当然、大切な子供の世話を依頼するのですから、身元の確かな、信頼できるベビーシッターが求められます。



ベビーシッターが人間のお子さんをお世話する仕事に対して、**ペットシッターは、ペットのお世話をする。**これがペットシッターです。相手がペットであってもご家族にとって大切な存在です。残念ながら日本でのペットの地位はまだ低くペット先進国の欧米に比べると誇れるものではありませんが、**ペットを取り巻く生活環境の中にオーナー（飼い主、ご家族）に信頼されるペットシッターの存在は必要不可欠になりつつあります。**今後ますますニーズが高まると予想されます。

01 | ペット業界でペットシッターは今注目のお仕事!!

ペットシッターとは

ペットシッターの需要

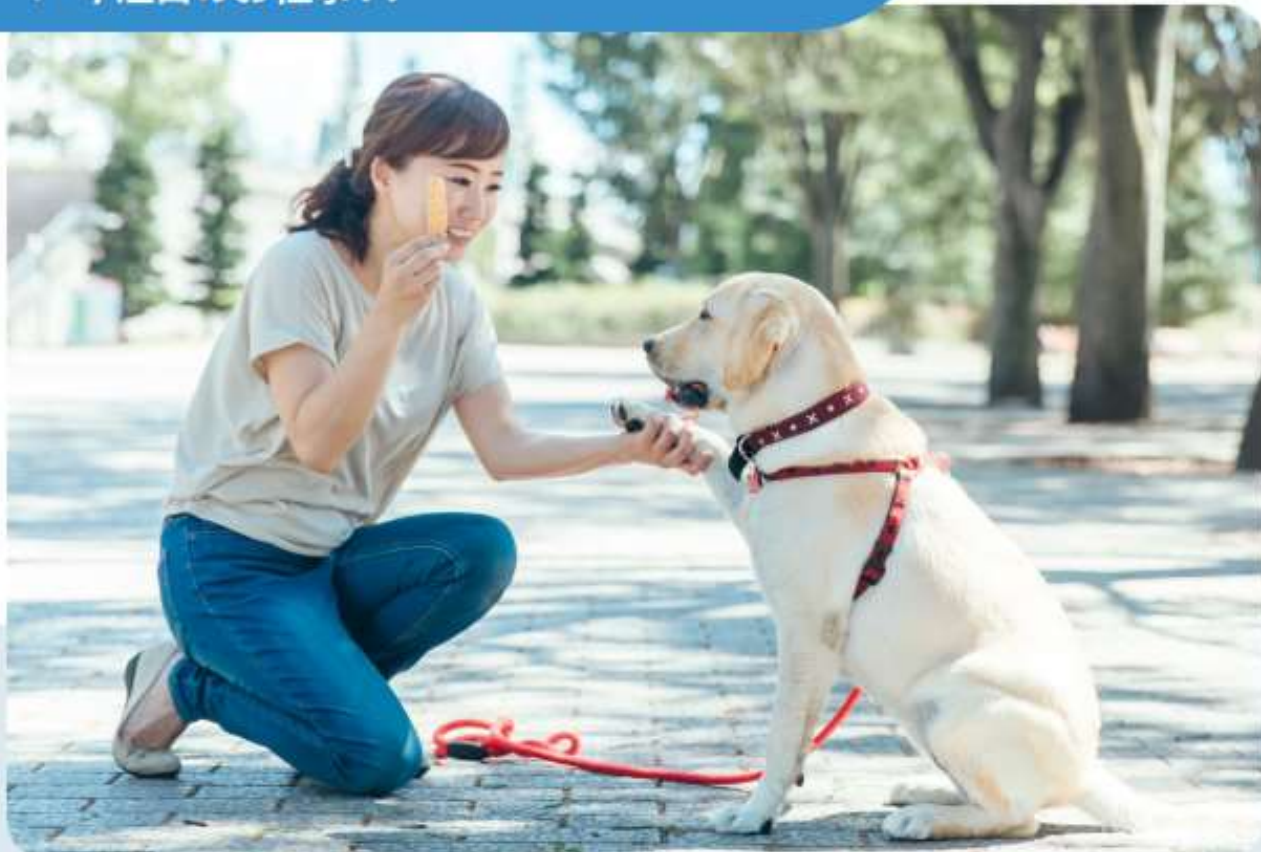
ペットシッターの1日

ペットシッターの声

月収
ペットシッターの

なる方法
ペットシッターに

今後の市場
ペットシッター



ペット業界における役割

ペットシッターは、ペット業界全体において、ペットホテルやトリミングサロンと並ぶ重要な役割を担っています。特に、ペットが自宅で快適に過ごせるようサポートする点で、ペットホテルとは異なる価値を提供しており、ますます需要が高まっています。



ペット関連サービスであつたらいいのサービスランキングでも常に上位に入っており、飼い主にとって非常に魅力的な選択肢となっています。その背景にも様々な要因が考えられます。

02 | ペットシッターの需要が高まる要因

01

動物愛護法改正

2021年6月に動物愛護法が改正されたことで、ペットホテルのケージサイズに規制が入り、現状より1.5～2倍の大きさを必要とされることとなりました。そのためサービスの停止が相次いでおり、ますますシッターニーズが高まっています。



動物愛護法改正
2021年6月

ケージの大きさに規制が入る

選択肢

廃業/サービスの変更/施設の改修

ペットシッターとは

ペットシッターの需要

ペットシッターの1日

ペットシッターの声

ペットシッターの
月収

ペットシッターに
なる方法

ペットシッター
今後の市場



02

忙しい生活環境

現代の忙しい生活環境では、飼い主がペットの世話を十分にできない状況が増えています。旅行や仕事で長時間家を空ける際、ペットをケアしてくれる信頼できる存在が必要となってきています。

03

信頼性と専門性

需要の高まりにより単なる「ペットの世話をする人」ではなく、ペットの行動や健康に関する専門知識を持ち、飼い主が安心してペットを任せられる信頼性を持つペットシッターが求められます。



このような背景から、ペットシッターの需要が急増しており、飼い主が留守の間にペットの世話をを行う専門職であり、散歩、食事、健康管理、さらには遊び相手になるなど、多岐にわたるサービスを提供するペットシッターのニーズが高まっています。

03 | ペットシッターの1日のスケジュール

ペットシッターとは

ペットシッターの需要

ペットシッターの1日

ペットシッターの声

ペットシッターの
月収

ペットシッターに
なる方法

ペットシッター
今後の市場

8:30
AM

早朝の準備

1日のスケジュールを確認し、必要なアイテム（ペットフード、リード、トリート、掃除用品など）を準備します。



9:00
AM

朝のペットケア

最初の飼い主様の家に訪問。犬の場合は、朝の散歩とトイレタイムを確保。猫の場合は、トイレ掃除と朝食の準備。ペットの健康状態を確認し、軽い遊びも行います。



9:30
AM

次の訪問

次のクライアントのペットを訪問。短時間のケアや遊び、餌やり、水の補充などを行います。必要であれば薬の投与も実施。



11:00
AM

新規飼い主様との打ち合わせ

新しい飼い主様とのミーティング。ペットの特別なケアが必要かどうか、詳細を確認し、今後のスケジュールを調整します。



12:00
AM

昼食と休憩

自宅や近くのカフェで昼食。午後の訪問に向けて準備を整えます。



🏠 午後のペット訪問

1:00
PM

午後の飼い主様の家を訪問。散歩や遊び、ケアを行います。ペットの健康状態を再確認し、問題があれば飼い主に報告します。



06

🏠 特別なケアが必要なペットの訪問

3:00
PM

高齢や病気のペットに特別なケアを提供。必要に応じて特別な食事の準備、リハビリテーションのサポートを行います。



07

🏠 最後の訪問

5:00
PM

最後のペットケア。夕食を与え、夜の散歩やトイレのケアを行います。ペットがリラックスして一日を終えられるように、マッサージや軽い遊びを行うことも。



08

📅 日報作成と報告

7:00
PM

1日の業務を終え、飼い主様にペットの状態を報告する日報を作成。翌日のスケジュールを確認し、必要な準備を行います。



09

🏠 自己ケアとリラックスタイム

8:00
PM

仕事の後はリラックスタイム。自分のペットと過ごしたり、趣味の時間を楽しんでリフレッシュします。



10

このように、ペットシッターの仕事は1日を通じて多くのペットと触れ合い、それぞれのニーズに合わせたケアを提供することが求められます。愛情と注意力が求められる大変な仕事ですが、ペットたちの笑顔や飼い主からの感謝の言葉が大きなやりがいとなります。

嬉しいこと



シッターAさん

ペットとの信頼関係

ペットシッターの最大の喜びは、ペットたちとの信頼関係を築くことです。最初は警戒していたペットが、時間をかけて自分に心を開き、甘えてくれるようになる瞬間は本当に感動的です。

飼い主からの感謝

飼い主さんから「安心して任せられる」「ペットがリラックスしている」と言ってもらえると、やりがいを感じます。ペットの健康や幸せに貢献できることは、大きな満足感を得られます。



シッターBさん



シッターCさん

日々の変化

毎日違うペットや状況に対応するため、仕事に飽きることがありません。それぞれのペットが持つ個性やニーズに応じて柔軟に対応することで、自分のスキルも磨かれていきます。

ペットケアの知識が深まる

ペットシッターとして働くことで、動物の行動や健康管理に関する知識が深まります。これらの知識は、自分のペットのケアにも役立ちますし、飼い主さんにもアドバイスできるようになります。



シッターDさん

大変なこと



シッターEさん

体力的な負担

ペットシッターの仕事は、特に犬の散歩や長時間のケアなど、体力を要する場面が多いです。一日に数件のシッティングを回るので、体力を維持することが重要です。

時間管理の難しさ

多くのペットを担当している場合、それぞれの訪問時間を正確に管理する必要があります。渋滞や天候の影響でスケジュールが乱れることもあるため、柔軟に対応できる力が求められます。



シッターFさん



シッターGさん

緊急対応の難しさ

ペットが突然体調を崩したり、予期しない問題が発生した場合、迅速に対応しなければなりません。緊急時に冷静に対処するための判断力と飼い主様との連携が必要です。

不規則な勤務時間

ペットシッターの仕事は、朝早くから夜遅くまで、場合によっては週末や祝日も働くことが求められます。プライベートの時間を調整するのが難しいこともあります。



シッターHさん

やりがいと大変さが入り混じる仕事ですが、ペットと飼い主さんの信頼を得られたときの達成感は非常に大きく、それが日々の原動力になっています。

アルバイト編

ペットシッターのアルバイトスタッフとしての1か月の収入は、以下のような要因によって流動的となります。副業で空いている時間を利用して楽しみながら仕事をしたい方にはおすすめです。



POINT01

勤務時間とシフト

ペットシッターの仕事は、週末や祝日に需要が高まるため、この時期にシフトに入ると収入が増えることがあります。1日に何件のペットシッティングを担当するかによっても収入が変わります。

例えば、1日に3～4件の訪問をこなすと、それなりの収入になります。



POINT02

報酬の計算方法

多くのアルバイトでは時給制が採用されています。時給が1,000円～1,500円程度の場合、1日に4～6時間働くと、月収はおおよそ6万円～12万円程度になります。



POINT03

地域と需要

都市部ではペットシッターの需要が高く、報酬も高めに設定される傾向があります。地方では需要が低くなることもあり、報酬もそれに依りて低めになることがあります。



POINT04

月額収入例

フルタイムでのアルバイト

平日に4～5時間、週末は6～8時間働く場合、月収は10万円～15万円程度になることが多いです。

パートタイムでのアルバイト

週に2～3日、1日3～4時間働く場合、月収は3万円～6万円程度になることが考えられます。

業務委託編

ペットシッターの完全業務委託者としての1か月の収入は、さまざまな要因によって大きく異なります。業務委託者の場合、働いた分だけ収入が増えるため、自分の働き方やクライアントの数、提供するサービスの内容が収入に直接影響します。



POINT01

サービスの種類

通常のシッティングはもちろんですが、最近では高齢のペットやトレーニングといった特別なケアを提供するニーズが高まっています。この場合、通常より高い料金を設定することができます。これにより、1か月の収入が増える可能性があります。

ペットの宿泊サービス

自宅でペットを預かるサービスを提供する場合、1泊あたり5,000円～10,000円程度の料金が発生します。これにより、数日間で数万円の収入を得ることができます。



POINT02

報酬の計算方法

1件あたりの報酬は通常2,000円～5,000円程度が一般的です。高いサービスを提供する場合や、長時間のシッティング、複数のペットを一度に見る場合は、これ以上の報酬を得ることもあります。

1日に5～10件の訪問をこなすと、1日の収入は10,000円～50,000円程度になることもあります。



POINT03

地域と需要

都市部ではペットシッターの需要が高く、1件あたりの報酬も高めになる傾向があります。このため、都市部で活動する業務委託者は、収入が高くなることが多いです。地方では需要が低くなることもあり、月収も都市部より低めになることがあります。固定客がつけば安定した収入を得られる可能性があります。



POINT04

月額収入例

フルタイム稼働

平日に毎日5～8件の訪問をこなし、週末も働く場合、月収は20万円～50万円以上になることが期待されます。特に繁忙期（夏休みや年末年始）には、収入がさらに増えることが多いです。

パートタイム稼働

週に3～4日、1日3～4件の訪問をこなす場合、月収は10万円～20万円程度になります。

ペットシッターとは

ペットシッターの需要

ペットシッターの1日

ペットシッターの声

ペットシッターの月収

ペットシッターになる方法

ペットシッター今後の市場

05 | どうやったらペットシッターになれる?

ペットシッターとは

ペットシッターの役割

ペットシッターの1日

ペットシッターの声

ペットシッターの
月収

ペットシッターに
なる方法

ペットシッター
今後の市場



I 手順

1 ペットシッターの資格を取得する! ▶▶▶ 11P

2 アルバイトで実務経験を取得する! ▶▶▶ 12P

3 動物取扱業の登録を行う! ▶▶▶ 13P

4 どういう形式で仕事するか選択する! ▶▶▶ 14-15P

- アルバイト
- フランチャイズ業
- 正社員
- 独立開業
- 業務委託

手順①

「ペットシッター士」を取得しよう！

「ペットシッター士」は、日本ペットシッター協会が発行する資格で、ペットシッターとしての専門知識やスキルを証明するものです。ペットシッターとして働くための基礎を学ぶとともに、信頼性のあるサービスを提供するための重要な資格です。

資格の概要

「ペットシッター士」は、ペットの世話に関する基本的な知識から、高度なケア方法までを体系的に学ぶことができる資格です。この資格を取得することで、ペットシッターとしての信頼性が向上し、顧客に安心してサービスを提供できるようになります。



資格取得の要件

ペットシッター士の資格を取得するためには、NPO法人日本ペットシッター協会が実施する養成講座を受講し、所定の課程を修了する必要があります。講座では、ペットの種類別のケア方法、健康管理、行動学、安全対策、法律に関する知識など、幅広い内容を学びます。



「ペットシッター士」の資格は、ペットシッターとしての信頼性を高め、より質の高いサービスを提供するために非常に有益な資格です。ペットケアに関する幅広い知識を得ることで、顧客の多様なニーズに応えることができるようになります。資格取得を通じて、ペットシッターとしてのキャリアをさらに発展させることができるでしょう。

手順②

動物取扱業—実務経験を取得しよう！

動物取扱業の実務経験は、動物取扱責任者としての資格を得るための要件の一つで、動物を取り扱う業務に従事した経験を指します。この実務経験は、動物の世話や管理に関する知識やスキルを実践的に習得するために必要とされます。

実務経験の概要



対象となる業務

実務経験として認められる業務には、動物の販売、保管、貸出し、訓練、展示など、動物取扱業に関連する業務が含まれます。例えば、ペットショップでの販売業務、ペットホテルでの保管業務、ドッグトレーナーとしての訓練業務などが該当します。



経験年数

実務経験として認められる期間は、自治体や業種によって異なりますが、一般的には6か月から1年以上の経験が求められることが多いです。具体的な年数や条件は、各自治体の規定によります。



証明書類

実務経験を証明するために、勤務先からの証明書や、業務に従事していたことを示す書類が必要となる場合があります。これにより、適切な経験があることを証明します。



実務経験の重要性

実務経験は、動物取扱責任者としての資格を取得する際に、動物を取り扱う業務に関する知識や技術をしっかりと身に付けていることを証明する重要な要素です。これにより、動物の健康と安全を守りながら、適切に業務を遂行する能力があることを示すことができます。

ではどうやって
実務経験を積んだら良いか・・・？



アルバイト募集

様々なペット関連企業、ペットショップ等でなかなか実務経験だけのためにアルバイト採用してくれる会社はほぼ存在しません。また、まだまだ多くないペットシッター企業でアルバイト等の採用募集をしているお店もそうありません。

そんなあなたにオススメなのが



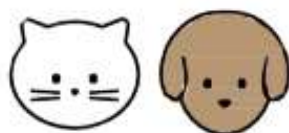
LOVE PET

ラブペット

ラブペットとは、東京 23 区を中心に正社員、業務委託、アルバイトで構成されるペットシッター集団です。資格取得後のアルバイトに、是非おすすめのペットシッター会社です。そしてメリットも盛り沢山！

メリット①

ペットシッターという業務で
実務経験を積み上げることができる！



メリット②

報酬+特別手当支給も
GET！



メリット③

本質を学べ様々なペットの
お世話ができる！



メリット④

ペットシッター大手「ラニマル」
グループだから正社員や
業務委託の道も！



手順③

動物取扱責任者に登録申請しよう！

※条件として、環境省が定めた対象学科資格（ペットシッター士など）+実務経験の2項を満たしておく必要があります。

動物取扱業は、動物の販売や保管、貸出し、訓練、展示などを行う事業のことを指します。この業務を行うには、都道府県や政令指定都市などの自治体に登録が必要で、法律に基づいた適切な管理が求められます。

POINT01

具体的な業種には、ペットショップ（販売業）、ペットホテル（保管業）、ドッグトレーナー（訓練業）、動物園（展示業）などがあります。これらの事業を行うには、動物取扱責任者を配置し、動物の健康と安全を守るための環境を整えることが求められます。



POINT02

動物取扱業は、動物とその飼い主の安全・安心を守るために重要な役割を担っており、適切な飼育・管理を行うことで、動物福祉の向上に寄与しています。

手順④

働き方を考えよう！

動物取扱業を取得したら、どのような形でもペットシッターとして活躍できることが可能となります。そのままアルバイトで働くもよし、業務委託契約を結んで自由に働くもよし、フランチャイズとして、また独立開業して自分色でペットシッターになるもよし。様々な形式を選択して仕事をしていくことができます。



働き方

01

ラブペットでアルバイトとしてそのまま働く！

働き方

02

ラブペットで正社員を目指してさらにスキルアップに努める！

働き方

03

動物取扱業を取得したから、セワクル等のペットシッター会社と業務委託契約して稼ぐ！

※セワクルとは、ラニマルグループが展開する、業務委託契約を主とするペットシッター派遣業。



働き方

04

ある程度自由な設計をしたいから日本ペットシッターサービス等のフランチャイズ開業を目指す！

※日本ペットシッターサービスとは、ラニマルグループが展開する、ペットシッターフランチャイズ事業。



働き方

05

完全に自分色のペットシッター業をやりたいので独立開業する！

ペットシッターとは

ペットシッターの需要

ペットシッターの1日

ペットシッターの声

ペットシッターの月収

ペットシッターになる方法

ペットシッター今後の市場

06 | ペットシッター業の今後の市場予想

ますます発展するペット市場の中でも、今ペットシッター市場が注目され活性化されていることはお分かりいただけたと思いますが、さらに今後ますますの発展が予想されます。ペットをお預かりする市場だけを見ても、さらなる市場拡大が予想されています。

ペットシッターの市場予測 POINT6

01 ペットの家族化と市場の拡大

ペットを家族の一員として考える人が増え続ける中、ペットシッターサービスの需要は今後ますます高まるでしょう。特に、共働き世帯や高齢者世帯の増加により、日常的なペットケアを外部に依頼するケースが増えると予想されます。これにより、市場は持続的に成長し、新たなビジネスチャンスが広がるでしょう。



02 サービスの多様化と高付加価値サービスの提供

今後、ペットシッターサービスは、単なる餌やりや散歩だけでなく、ペットの健康管理や心理ケア、トレーニングなど、より専門的で高付加価値なサービスが提供されるようになるでしょう。これにより、ペットシッターの役割が拡大し、サービスの多様化が進みます。個々のペットのニーズに合わせたカスタマイズされたサービスが普及し、ペットシッター市場はさらに魅力的なものになるでしょう。

03 グローバル展開と国際的な市場の成長

ペットシッター市場は、グローバルに展開する可能性も高まっています。特に、ペット文化が根付いている国々では、国際的なペットシッターサービスの需要が高まり、日本国内で培ったサービスを海外に展開するチャンスも増えるでしょう。これにより、国際的な市場での成長が期待されます。





ペットシッターとは

04 コミュニティベースの ペットケアの拡充

ペットを家族の一員として考える人が増え続ける中、ペットシッターサービスの需要は今後ますます高まるでしょう。特に、共働き世帯や高齢者世帯の増加により、日常的なペットケアを外部に依頼するケースが増えると予想されます。これにより、市場は持続的に成長し、新たなビジネスチャンスが広がるでしょう。



ペットシッターの需要

ペットシッターの1日

ペットシッターの声



05 健康と福祉の向上

ペットシッターの役割は、ペットの健康と福祉を向上させる重要な要素として認識されるようになります。定期的なケアや健康チェックを通じて、ペットの健康を維持し、飼い主の生活の質も向上させることができます。これにより、ペットシッターがペットと飼い主の双方にとって欠かせない存在となるでしょう。

06 働き方の自由化

様々な形式での働き方が注目されている中、個人で自分の思いのまま働きたいという方が多くなってきました。ペット市場においてもある程度個人で活動できるペットシッター業が注目されています。大好きなペットのお世話を主とした業態も人気のひとつの要因かもしれません。



ペットシッターの
月収

ペットシッターに
なる方法

ペットシッター
今後の市場

ペットシッター市場は、ペットを家族の一員として扱う傾向の強まりやデジタル技術の進化、環境への配慮など、多様な要因によって今後ますます成長していくことが期待されます。これにより、ペットシッターの役割はさらに拡大し、より多くのペットと飼い主にとって必要不可欠なサービスとして定着していくでしょう。この明るい未来に向けて、ペットシッターは、さらに多様で高品質なサービスを提供し続けることで、業界全体の発展に貢献していくことができるでしょう。

ペットシッターに
お世話をお願いする。



sewaki.



LANIMAL